

感染症発生動向調査事業に基づく病原体検索および分析に検体を提供された方へ

当所では、感染症発生動向調査事業に基づき、病原体の検索および分析を行っています。提供された検体の検査結果から得られた病原体情報は、感染症法の届出基準に基づき報告され、報告数は国立感染症研究所感染症情報センターのインターネットホームページに公開され、広くご覧いただけます。

大阪府内（堺市および一部の中核市を除く）の医療機関で、感染症法に規定された、1類から5類に分類される疾患の疑いがあると診断された方の検体は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送られ、各疾患関連の検査が実施されています。

本事業でご提供いただきました検体やそれに付随の情報につきましては、検査終了後、研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました情報は加工を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目		発疹性疾患関連病原体に関する研究（申請書 No. : 1302-06-9）
1.	研究対象者	平成15年4月以降に当所に検体を搬入された方を研究対象者とします。
2.	研究概要	麻疹、風疹、デング熱やリケッチア症など、発疹を伴う疾患に罹患した方の試料を用いて、抗体の測定や血中蛋白質の解析、他の感染症との類症鑑別及び分子疫学、診断法及び検査法の開発・改良を行います。
3.	研究期間	令和7年8月19日～令和10年3月31日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：血液、咽頭拭い液、尿、髄液、臍帯、水疱拭い液、これらから抽出された核酸 情報：性別、年齢、診断名、症状、ワクチン接種歴、発症日、検体採取日、血清抗体価、ウイルスゲノムコピー数、渡航歴 （患者が新生児の場合）：母親の年齢、ワクチン接種歴、妊娠経過 仮名加工情報は、当所の個人情報取扱事務管理者が保管・管理します。
5.	外部への試料・情報の提供	国立感染症研究所へは、試料として血液、咽頭拭い液、尿、これらから抽出された核酸を提供し、情報として診断名、発症日を提供します。 仮名加工情報は、当所の個人情報取扱事務管理者が保管・管理します。
6.	研究責任者	ウイルス課 主幹研究員 倉田貴子
7.	共同研究機関	国立感染症研究所 バイオインフォマティクス・オミクス研究部第一室 室長 森嘉生 大阪医科薬科大学 薬学部 教授 駒野 淳

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、検体・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

ウイルス課

電話番号：06-6972-1401 or mail : kurata@iph.osaka.jp

大阪健康安全基盤研究所で実施する研究に、医療機関を通じて病原体などの試料を提供された方へ

当所では、病原体の流行状況や治療薬の有効性などを把握するための研究として、医療機関を通じた病原体の収集および分析を行っています。提供された試料の分析結果から得られた病原体情報は、学術誌や学会発表を通じて社会に還元することで共有され、感染症の様々な対策を開発・実行するために活用されます。

大阪府内および他地域の医療機関で、感染症疾患の疑いがあり、病原体の解析が必要と判断された方の試料は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送られ、各疾患関連の解析が実施されています。

本研究のためご提供いただきました試料やそれに付随の情報につきましては、研究終了後、別の研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました情報は加工を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目	発疹性疾患関連病原体に関する研究（申請書 No. : 1302-06-9）	
1.	研究対象者	平成15年4月以降に当所に検体を搬入された方を研究対象者とします。
2.	研究概要	麻疹、風疹、デング熱やリケッチア症など、発疹を伴う疾患に罹患した方の試料を用いて、抗体の測定や血中蛋白質の解析、他の感染症との類症鑑別及び分子疫学、診断法及び検査法の開発・改良を行います。
3.	研究期間	令和7年8月19日～令和10年3月31日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：血液、咽頭拭い液、尿、髄液、臍帯、水疱拭い液、これらから抽出された核酸 情報：性別、年齢、診断名、症状、ワクチン接種歴、発症日、検体採取日、血清抗体価、ウイルスゲノムコピー数、渡航歴 (患者が新生児の場合)：母親の年齢、ワクチン接種歴、妊娠経過 仮名加工情報は、当所の個人情報取扱事務管理者が保管・管理します。
5.	外部への試料・情報の提供	なし
6.	研究責任者	ウイルス課 主幹研究員 倉田貴子
7.	共同研究機関	国立感染症研究所 バイオインフォマティクス・オミクス研究部第一室 室長 森嘉生 大阪医科薬科大学 薬学部 教授 駒野 淳

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

ウイルス課

電話番号：06-6972-1401 or

mail : kurata@iph.osaka.jp

感染症流行予測調査における採血にご協力いただいた方へ

当所では、感染症を疑う方の検体から病原検索および分析を行なっています。提供された検体の検査結果は各保健所を通し、各医療機関へとお返しいたします。

大阪府（堺市および一部の中核市を除く）の医療機関で、特定の感染症の疑いがあり、病原検索及び分析を希望された方の検体は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送られ、各疾患関連の検査が実施されています。

本検査でご提供いただきました検体やそれに付随の情報につきましては、検査終了後、研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました情報は加工を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目	発疹性疾患関連病原体に関する研究（申請書 No. : 1302-06-9）	
1.	研究対象者	平成 15 年 4 月以降に当所に検体を搬入された方を研究対象者とします。
2.	研究概要	麻疹、風疹、デング熱やリケッチア症など、発疹を伴う疾患に罹患した方の試料を用いて、抗体の測定や血中蛋白質の解析、他の感染症との類症鑑別及び分子疫学、診断法及び検査法の開発・改良を行います。
3.	研究期間	令和 7 年 8 月 19 日～令和 10 年 3 月 31 日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：血液 情報：性別、年齢、ワクチン接種歴、血清抗体価
5.	外部への試料・情報の提供	なし
6.	研究責任者	ウイルス課 主幹研究員 倉田貴子
7.	共同研究機関	国立感染症研究所 バイオインフォマティクス・オミクス研究部第一室 室長 森嘉生 大阪医科薬科大学 薬学部 教授 駒野 淳

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、検体・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」
大阪健康安全基盤研究所
ウイルス課
電話番号：06-6972-1401 or
mail : kurata@iph.osaka.jp

成人における麻疹集団発生機序の解明研究にご参加された方へ

当所では、2016 年に関西空港を中心に発生した麻疹の集団発生事例を受けて、患者の抗体保有状況や発症後の抗体誘導に関するデータを収集し、麻疹ワクチン誘導免疫が麻疹の感染防御に与える影響を科学的に検討するために、対象者に同意を得て回復期血清を用いた抗体検査を行いました。提供された試料の分析結果から得られた情報は、学術誌や学会発表を通じて社会に還元することで共有され、感染症の様々な対策を開発・実行するために活用されています。

上記研究のためご提供いただきました試料やそれに付随の情報につきまして、詳細な血清疫学、感染機序およびウイルス感染による誘導免疫の解明、迅速な検査法の開発・改良を目的とし、感染防御に必要な宿主要因を明らかにし、感染予防対策に役立てるため、利用させていただきます。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました情報は加工を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目		発疹性疾患関連病原体に関する研究（申請書 No. : 1302-06-9）
1.	研究対象者	平成 28 年に大阪府内で麻疹の集団感染を経験された方のうち、「成人における麻疹集団発生機序の解明」研究にご参加いただき、感染後 4 から 6 週間後に麻疹抗体価測定のために採血を行った方を研究対象者とします。
2.	研究概要	麻疹患者の回復期血清を用いて、抗体の測定や血中蛋白質の解析、診断法及び検査法の開発・改良を行います。
3.	研究期間	令和 7 年 8 月 19 日～令和 10 年 3 月 31 日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：血清 情報：性別、年齢、発症日、試料採取日、血清抗体価
5.	外部への試料・情報の提供	なし
6.	研究責任者	ウイルス課 主幹研究員 倉田貴子
7.	共同研究機関	国立感染症研究所 バイオインフォマティクス・オミクス研究部第一室 室長 森嘉生 大阪医科薬科大学 薬学部 教授 駒野 淳

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

ウイルス課

電話番号：06-6972-1401 or

mail : kurata@iph.osaka.jp